

しいの実

第28号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 6年生を送る会

3月1日に6年生を送る会を開催しました。

6年生は卒業まであと12日の登校となったこの日、あいにくの寒い体育館でしたが、子どもたちの6年生を思う熱い気持ちで体育館が包まれました。

送る会のテーマは「届けよう想い 輝け6年生」、送る会にふさわしい言葉だと感心しました。まず、在校生から想いを届けます。低学年は、この日までに体育館の飾りつけを制作してきました。当日は、1, 2年生はこれまでの感謝の気持ちを「呼びかけ」で、3年生は合唱で届けました。続いて4年生は6年生がこれまで何度も歌ってきた校歌をハンドベルだけの演奏とリコーダー、アコーディオンなど様々な楽器を使っての演奏で聞かせてくれました。特にハンドベルでの校歌は心地よい音色でいつもと違う校歌を聞くことができました。6年生の胸にどのような想いを届けられたのでしょうか。

少し休憩を挟んで後半の部、5年生。卒業生の1年から6年までを象徴する動物を主役にしたミュージカルでした。送る会の企画・運営だけでなく自分たちの出し物でも想いを届けてくれました。

最後は6年生からのお礼です。「剣の舞」の合奏はさすが6年生、すばらしい、輝く演奏でした。また、家庭科の時間等を使って作ってくれた「タッセル」を贈呈してくれました。

6年生から届けられた鈴西小学校への想い、5年生には最高学年としての責任と自覚をしっかりと引き継ぐことができた送る会になったのではないのでしょうか。



1年生と一緒に入場



息の合った低学年



校歌の合奏



5年のミュージカル



6年「剣の舞」



名残は尽きませんが退場

■ スクールコンサート

3月5日(火)に西部混声合唱団の皆様にお越しいただいてのコンサートを実施しました。この3年間、感染症の影響で計画しては延期になってしまい、ようやくこの日に実現できました。

鈴西小の校歌に始まり、アカペラあり、ピアノソロあり、メドレーありと多彩な内容で、聴衆である子どもたちも集中して聴いていました。作曲された桂先生自ら指揮をされた校歌は、いつも聞いている子どもたちの歌声によるものとは、また違って感じられました。また、鈴西の森の歌「ゆたかなもり」というのを初めて知りました。歌詞の一部を紹介します。「ゆたかな鈴西の森で木の名前をおぼえた・・・鳥が知らせる季節 このゆたかな森は 輝き放つ ぼくらの未来・・・」歌詞の通りゆたかな森を大切にしていこうと思います。

音楽は聴く人に寄り添い、気分をあげたり気持ちを落ち着かせたりと人生を豊かにしてくれるものだと思います。子どもたちが素敵な曲と出会い、豊かな人生を共に歩いてほしいと思いました。



■ 親子読書&メディアコントロールの強化週間

親子読書&メディアコントロールの強化週間の取組ありがとうございました。

	親子読書			TV利用読書		
	目標時間	平均時間	達成状況	目標時間	平均時間	達成状況
1年	12.7分	11.1分	0.9倍	63.7分	59.9分	0.9倍
2年	16.1分	12.9分	0.8倍	79.1分	78.3分	1.0倍
3年	22.0分	18.7分	0.8倍	78.0分	74.9分	1.0倍
4年	18.5分	20.4分	1.1倍	76.3分	95.8分	1.3倍
5年	20.7分	18.9分	0.9倍	100.4分	101.5分	1.0倍
6年	25.8分	24.7分	1.0倍	97.7分	108.1分	1.1倍

結果については左の表のようになりました。読書時間・メディア利用時間共に学年が上がるにつれて増えています。今回の取組によってメディアをコントロールすることについて意識していただけたことが大きな成果だと思います。感想についても、児童「いろいろな本を読む機

会が増えてよかった」「家族との時間が増えた」保護者「意外にも楽しかった」「今後も続けていきたい」などの肯定的な意見をいただきました。読書時間が少ないことメディアに接する時間が長いことは市全体の課題となっています。各ご家庭で、それぞれの状況に応じて上手く活用していただければと思います。

今回の親子読書で読まれていた本を少し紹介します。今後の参考にしてください。

低学年	・しずくちゃん・ひょうたんとかえる・ねことコップ ・100かいだてのいえ・ききみみずきん・ねずみのよめいり
中学年	・日本の歴史・ドラえもん宇宙の不思議・水不足のサバイバル・子供六法
高学年	・大造じいさんとガン・秘密のオルゴール・今日、だれのために生きる？・5秒後に意外な結末・5分後に意外な結末・嘘をもう一つだけ・銭天堂